

経皮的冠動脈形成術（PCI）を受けられる方へ

月日（日時） 経過（病日等）	入院日（治療前日）	治療当日（治療前）	治療当日（治療後）	治療後 1-2 日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 治療の目的・内容を理解し、安心して治療に臨めるよう準備しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療の目的・内容を理解し、安心して治療に臨めるよう準備しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療に必要な安静の指示を守り、合併症を抑えられるようにしましょう。 症状の変化を伝えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示の安静を守りましょう。 異常があれば伝えましょう。 退院後の生活について理解しましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて点滴を始めることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療前から点滴が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後もしばらく点滴をします。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服しているお薬を確認します。 内服薬については、医師又は看護師から説明いたします。指示がない限りは普段通りお飲みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 当日の内服薬については、医師又は看護師から説明いたします。 医師の指示のもと、気持ちを落ち着かせるお薬を内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療結果によって薬が変更になることがあります。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長と体重を測ります。 必要に応じて検査が入ることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 順番が近づきましたら手術衣に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰室時に 12 誘導心電図の検査を行います。 継続的な心電図モニターを装着します。 帰室後 1～2 時間おきに看護師が血圧測定などを行い、状態を観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、12 誘導心電図検査と採血を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示に従い、鼠径周囲の除毛をします。 足の甲の脈が触れるところに印をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を刺す部位（穿刺部）に痛み止めのテープを貼ります。 治療室へ出発するときは、時計、めがね、義歯、湿布、指輪、ヘアピンなどを外します。 （ロストレッチャー・ロ車いす）で治療室に行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 穿刺部に管が入ったまま帰室された方は、時間がきましたら医師が管を抜きます。 穿刺部の管を抜いてから、およそ 6 時間後に医師の診察にて問題なければ安静解除となります。 安静解除の時間が夜になってしまう場合は翌朝に行います。 手首から治療された方は、出血の有無を確認しながら、医師がおよそ 3 時間・6 時間後に処置を行います。 足の付け根から治療された方は、管を抜いた後に止血のため砂嚢をあてます。およそ 3 時間後にはずします。 	<ul style="list-style-type: none"> 前日に安静解除を行わなかった方は、朝に医師が安静解除を行います。
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、安静にお過ごしください。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 穿刺部は安静解除まで曲げないでください。手首から治療された方は、手首に負荷のかかることはしないでください。 足の付け根から治療され管が入ったまま帰室された方は、管を抜いてから 6 時間後までは基本的にベッド上安静です。ご自身で動くことはできません。出血のおそれがありますので横を向いたり膝を立てたり起き上がったりしないでください。 足の付け根以外を穿刺された方は安静解除まではトイレ歩行程度としてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 安静解除後は制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より、医師の指示による食事を提供いたします。 食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> （朝食・昼食）は召し上がることができません。 治療前まで、水もしくはお茶のみ摂取可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 穿刺部の管が抜けたら、飲水・食事は可能です。 治療終了後に軽食を提供いたします。 ベッド上安静の方は、寝たまま摂取します。 召し上がりやすい形態の食事を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示による食事を提供いたします。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴ができます。 シャワー浴ができない方は身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 治療翌日は身体を拭くだけで控え、退院翌日からシャワー浴及び入浴可能となります。
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 治療前にトイレをすませてください。 医師の指示により、治療前に病棟で尿の管を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿量を確認するため、帰室してから 6 時間後までの尿をトイレに用意してある袋にためてください。 足の付け根から検査された方は、尿の管からの排尿量を確認します。排便はベッド上になります。 尿の管を入れた方は、医師の指示により抜きます。 	
患者様への 説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 医師から治療についての説明があります。 治療に関する同意書を確認します。 看護師より治療の一連の流れについて説明いたします。 入院中に胸痛が出現した場合はすぐに医師又は看護師にお知らせください。 バスタオルを 1 枚ご用意ください。 治療中の顔色や爪色の観察のため、化粧やマニキュアは落としてください。 		<ul style="list-style-type: none"> 主治医より今回の治療結果や退院後のことについて説明があります。 穿刺部の腫れや痛み、気分不快などありましたら遠慮なく医師又は看護師に声をかけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後の経過に問題なければ、2 日後に退院となります。 退院の流れについては、別途説明します。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。